

## コロナの打撃を跳ね返す組織づくりを

ー組織のレジリエンス（回復力）を強化しようー

### 最近よく聞かれる“レジリエンス”って何？

最近「レジリエンス」という言葉をよく耳にするようになりました。これは“物理的な外からのゆがみを跳ね返す力”という意味の物理学用語です。それが、ストレス社会の到来により「ストレスに負けない力」として、心理学の分野でも使われるようになりました。さらに今は、コロナというストレスに痛めつけられた企業の回復力としても使われています。

### 従来の危機管理策を見直そう

中国での感染拡大から、今の日本の状況を予測した人はどれだけいたでしょうか。また、毎年続く自然災害においても「想定を超えていた」とは、よく聞く言葉です。

危機を予測し、事前に対策を立てておくことが危機管理の基本です。しかし、その予測を超える事態に度々直面する時代に、我々はどのように対処したらよいのでしょうか。もちろん、危機による被害を最小限にとどめる策を事前に考えることは必要です。それに加えて、危機によるダメージを跳ね返す力（レジリエンス）を組織につけておくことも重要ではないでしょうか。

### レジリエンスの強い企業の特徴

レジリエンスの強い人（組織）にはいくつかの特徴があるとされています。それをまとめると、以下の3点になります。

1. 自己（自社）肯定感
2. 多角的な視野
3. 肯定的な未来志向

以上を具体的に考えると、例えば

- 1は「自社の本来的な強みを知り、社員が自信を持っている」
- 2は「その強みを活かす新たな分野（市場、商品・サービス）を柔軟に考える」
- 3は「危機を乗り越えて目指すビジョンが明確になっている」

と言えるでしょう。

これからも予測を超えた危機が企業を襲うかもしれません。予測できないなら、どんな嵐にも耐えられる強い組織体質を作っておくことが最も重要なことではないでしょうか。当社では、そのような組織を作るための教育・コンサルティングを行っております。

是非、ご興味・ご質問のある方は、

研修企画担当：秦野（m-hatano@nkb-net.co.jp）、もしくは、下記までご連絡下さい。

> お問い合わせはこちら